

西日本インカレ（合同研究会）2016 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報に記載しないでください。

大学・学部・所属ゼミナール名（フリガナ）		
フリガナ）セツナンダイガク	フリガナ）ケイザイガクブ	フリガナ）ウエスキ ダイ
摂南大学	経済学部	植杉 大 ゼミ

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	パワーポイント内の 動画使用（有・無）
フリガナ）ソード フィッシャーズ	フリガナ）オチアイ カイト	5	無
SWORD FISHERS	落合 海人		

研究テーマ（発表タイトル）

被災地を舞台とした大人の修学旅行「グランドツーリズム」

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

現在、観光は日本の経済成長において大きな役割を果たしており、観光産業の振興による地方活性化は、地方創生の一案としても期待されている。本研究では宮城県気仙沼市を題材とし、現在行われている観光政策や観光客ニーズを調べ、今後必要となる観光政策について考察し、新たな観光形態を提案する。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

私達の研究の題材となる気仙沼市は、東北大震災の被災地として知られている。被災地を扱っている観光には、ダークツーリズムという概念がある。ダークツーリズムは、人の死や悲しみを対象とした観光であり、1996年に提唱された。その他にも、地域の特色や観光客のニーズ・目的に合わせて、様々な観光形態が存在し、議論されている。

3. 研究テーマの課題

先述のダークツーリズムでは被災の悲惨さを伝える事に特化しているため、気仙沼本来の魅力が伝わらない。それ故に私たちは平面的ではなく、多方面から地域の魅力を知る事ができる観光の仕組みを作る必要を感じた。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

そこで、私たちは新たな観光形態として「グランドツーリズム」を提唱する。この「グランドツーリズム」は観光の目的が「教育」と「遊び」に据えられており、学びながらも楽しんでもらう、所謂修学旅行のような性質を持っている。この観光形態の特徴は、被災の悲惨さだけでなく、その地域独自の魅力である観光資源や特産品などを体験してもらうことで、相乗的に認識を深められる点である。またこのツアーを、歴史・文化に関心が高く今後の旅行消費を支えると予想される「次世代新シニア」をメインターゲットとして捉え、知的好奇心を満たしながら展開されていく観光形態が「グランドツーリズム」である。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

気仙沼に対する関西の意識調査のために、気仙沼の食材を使ったメニュー「メカカレー」を本校摂南大学にて販売。同時にアンケート用紙をメニュー購買者に対して配布した。このアンケートでは、①関西では未だ「気仙沼市は被災地である」という印象が最も

強い、②メカジキの味については非常に好評であったが、メカジキのみでは気仙沼に対して興味を示す事が少ない、などの結果を得ることが出来た。

また、私たちは実際に気仙沼市に赴き、現地の観光に携わり、尽力している方々にお話を伺った。気仙沼の観光事業を中心となって推し進めている「リアス観光創造プラットフォーム」理事長 菅原昭彦氏、行政の水産課・観光課の役員、地元民間企業の観光タクシーである「株式会社気仙沼観光タクシー」代表取締役 宮井和夫氏のもとに訪れ意見交換を行った。その結果、行政や観光事業団体は港町気仙沼の独自の文化や人柄を、唯一無二のものとして推していきたいということを理解した。また、行政は観光地としては震災遺構を極力残し、伝承していくべきではないかという一方、住民は震災の記憶を残すことに否定的であるなど気仙沼市内でも大きな摩擦が生じている。この現状の打開策を、私たちはこれまでのデータと経験を活かし思案した結果、先述にもあった「グランドツーリズム」の発案に至った。

6. 結果や今後の取り組み

今後グランドツーリズムの研究を重ね、計画の実用性を強くする。また、このツアーを通して震災復興に繋げ、地域活性化の足掛かりとして普及させたい。気仙沼市だけでなく、他の被災地や被災地に限らない歴史的文化を持った地方都市にもこの観光形態を当てはめてグランドツーリズムひいては日本の観光事業の発展を図る。

7. 参考文献

- ・JTB 総合研究所 『<http://www.tourism.jp/tourism-database/survey/archive/2016/>』 2016/9/30
- ・じゃらん リサーチセンター『http://jrc.jalan.net/jrc/files/research/jalasyuku_20140725.pdf』 2016/10/3
- ・観光庁『<http://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/shouhidoukou.html>』 2016/10/5
- ・気仙沼市『<http://www.kesenuma.miyagi.jp/index.html>』 2016/8/1
- ・リアス観光プラットフォーム『<http://rias-kanko.com/>』 2016/8/3
- ・気仙沼観光タクシー『<https://heart-beat-bexi.jp/>』 2016/8/4
- ・『よくわかる観光社会学』（著）安村 克己，遠藤 英樹，寺岡 伸悟，堀野 正人 2011/4/1
- ・日本におけるダークツーリズム研究の可能性『<http://jafeeosaka.web.fc2.com/pdf/B5-1ide2.pdf>』 2016/6/6

西日本インカレ事務局への連絡事項

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、西日本インカレ事務局への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3 ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、3 ページ目までを渡します。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HP などに発表されていない）ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、著作権の使用許諾を得てください。日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※その他、注意点については「企画シート・パワーポイントの作成および提出について」をご参照ください。